

長崎県立大学 情報システム学部設置届出書  
(抜粋)

# 目 次

基本計画書 .....	1
<b>教育課程等の概要</b>	
情報システム学科 .....	5
情報セキュリティ学科 .....	12
<b>設置の趣旨等を記載した書類</b>	
1 設置の趣旨及び必要性 .....	19
2 学部・学科等の特色 .....	22
3 学部・学科の名称及び学位の名称 .....	23
4 教育課程の編成の考え方及び特色 .....	24
5 教員組織の編成の考え方及び特色 .....	27
6 教育方法、履修指導方法及び卒業要件 .....	28
7 施設、設備等の整備計画 .....	33
8 入学者選抜の概要 .....	34
9 実習の具体的計画 .....	38
10 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で 履修させる場合の具体的計画 .....	39
11 管理運営 .....	39
12 自己点検・評価 .....	41
13 情報の公表 .....	41
14 教育内容等の改善を図るための組織的な取組 .....	42
15 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 .....	43
参考資料	

# 基本計画書

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	学部の設置							
フリガナ設置者	ナガサキコウリツクダイガクシヨウ 長崎県公立大学法人							
フリガナ大学の名称	ナガサキリツクダイガク 長崎県立大学（英語名：University of Nagasaki）							
大学本部の位置	長崎県佐世保市川下町123番地							
大学の目的	長崎県立大学は、地域経済の発展と県民の健康・生活・文化の向上を図る学術文化の中心としての役割を担うべく、人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材を育成し、長崎に根ざした新たな知の創造に努めるとともに、大学の持つ総合力を基に地域社会及び国際社会に貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的	<p><b>【情報システム学部】</b> 情報システム学部では、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成する。具体的には次のような分野で活躍できる人材である。 ①システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材 ②感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材 ③情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材</p> <p><b>【情報システム学部情報システム学科】</b> 情報システム学科では、情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成する。具体的には次のような分野で活躍できる人材である。 ①システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材 ②感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材</p> <p><b>【情報システム学部情報セキュリティ学科】</b> 情報セキュリティ学科では、情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成する。具体的には次のような分野で活躍できる人材である。 ①情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	情報システム学部 [Faculty of Information Systems]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1
	情報システム学科 [Department of Information Systems]	4	40	—	160	学士 (情報システム学)	平成28年4月 第1年次	
	情報セキュリティ学科 [Department of Information Security]	4	40	—	160	学士 (情報セキュリティ学)	平成28年4月 第1年次	
計		80		320				

同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		経済学部 (廃止) 経済学科 (廃止) (△150) 地域政策学科 (廃止) (△150) 流通・経営学科 (廃止) (△150) ※平成28年4月学生募集停止予定 (平成27年10月届出予定) 国際情報学部 (廃止) 国際交流学科 (廃止) (△ 80) 情報メディア学科 (廃止) (△ 60) ※平成28年4月学生募集停止予定 (平成27年10月届出予定) 経営学部 経営学科 (140) 国際経営学科 ( 60) ※平成28年4月学部学科の設置届出 地域創造学部 公共政策学科 (120) 実践経済学科 (130) ※平成28年4月学部学科の設置届出 国際社会学部 国際社会学科 ( 60) ※平成28年4月学部学科の設置届出									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
		講義	演習	実験・実習	計						
	情報システム学部 情報システム学科	79科目	90科目	8科目	177科目	128単位					
情報システム学部 情報セキュリティ学科	78科目	84科目	8科目	170科目	128単位						
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等			
	新設	経営学部 経営学科	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等		
			人	人	人	人	人	人	人		
			13	3	4	—	20	—	84		
			(13)	(3)	(4)	(—)	(20)	(—)	(77)		
			国際経営学科		7	2	1	—	10	—	70
			(7)	(2)	(1)	(—)	(10)	(—)	(68)		
			地域創造学部 公共政策学科		11	3	6	—	20	—	83
			(11)	(3)	(6)	(—)	(20)	(—)	(69)		
	実践経済学科		8	5	3	—	16	—	95		
(8)	(5)	(3)	(—)	(16)	(—)	(81)					
国際社会学部 国際社会学科		11	12	5	—	28	—	78			
(11)	(12)	(5)	(—)	(28)	(—)	(66)					
情報システム学部 情報システム学科		5	3	2	—	10	—	87			
(5)	(3)	(2)	(—)	(10)	(—)	(84)					
情報セキュリティ学科		7	2	—	—	9	—	87			
(7)	(2)	(—)	(—)	(9)	(—)	(85)					
計		62	30	21	—	113	—	—			
(62)	(30)	(21)	(—)	(113)	(—)	(—)					
既設	看護栄養学部 看護学科		7	6	7	4	24	—	87		
	(7)	(6)	(7)	(4)	(24)	(—)	(87)				
	栄養健康学科		9	2	4	3	18	—	78		
(9)	(2)	(4)	(3)	(18)	(—)	(78)					
計		16	8	11	7	42	—	—			
(16)	(8)	(11)	(7)	(42)	(—)	(—)					
合計		78	38	32	7	155	—	—			
(78)	(38)	(32)	(7)	(155)	(—)	(—)					
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計		大学全体		
	事務職員		50人		41人		91人				
	(50)		(41)		(91)		(91)				
	技術職員		0		9		9				
	(0)		(9)		(9)		(9)				
図書館専門職員		0		10		10					
(0)		(10)		(10)		(10)					
その他の職員		0		3		3					
(0)		(3)		(3)		(3)					
計		50		63		113					
(50)		(63)		(113)		(113)					

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	125,685㎡	—㎡	—㎡	125,685㎡					
	運 動 場 用 地	51,250㎡	—㎡	—㎡	51,250㎡					
	小 計	176,935㎡	—㎡	—㎡	176,935㎡					
	そ の 他	11,920㎡	—㎡	—㎡	11,920㎡					
合 計	188,855㎡	—㎡	—㎡	188,855㎡						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
		48,532㎡ (48,532㎡)	—㎡ ( —㎡)	—㎡ ( —㎡)	48,532㎡ ( 48,532㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	45室	44室	30室	11室 (補助職員2人)	4室 (補助職員2人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		情報システム学部		19 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	機械・器具は国際社会学部及び情報システム学部全体		
	情報システム学部	32,868 [1,912] (31,684 [1,870])	170 [91] (115 [59])	5 [5] (5 [5])	714 (678)	379 (379)	0 (0)	※大学での共用分 図書 165,084冊[45,993冊] 学術雑誌 273冊[127冊] 電子ジャーナル 12[12] 視聴覚資料 4,945点		
	計	32,868 [1,912] (31,684 [1,870])	170 [91] (115 [59])	5 [5] (5 [5])	714 (678)	379 (379)	0 (0)			
図 書 館		面積		閲覧座席数	取 納 可 能 冊 数		大学全体			
		6,462㎡		603	500,000					
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		4,827㎡		武道館	弓道場					
				テニスコート (14面)						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。 ※学生納付金は上段が県内の学生、下段が県外からの学生	
		教員1人当り研究費等	1,030千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	—千円	—千円		
		共同研究費等	93,688千円	93,688千円	93,688千円	93,688千円	—千円	—千円		
		図書購入費	83,387千円	75,227千円	75,227千円	75,227千円	—千円	—千円		
	設備購入費	232,599千円	121,615千円	121,615千円	121,615千円	—千円	—千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		729千円	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円			
		906千円	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			長崎県からの運営費交付金を充当							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称		長崎県立大学							
	学 部 等 の 名 称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
			年	人	年次人	人		倍		
	経済学部						学士(経済学)	1.03		長崎県佐世保市川下町123番地
	経済学科		4	150	—	600	学士(経済学)	1.04	平成20年度	※平成28年4月学生募集停止
	地域政策学科		4	150	—	600	学士(地域政策学)	1.04	平成20年度	※平成28年4月学生募集停止
流通・経営学科		4	150	—	600	学士(流通・経営学)	1.03	平成20年度	※平成28年4月学生募集停止	
経済学研究科							0.49			
産業経済・経済開発専攻		2	12	—	24	修士(経済学)	0.49	平成20年度		

	年	人	年次 人	人	倍				
既設 大学等 の 状 況	国際情報学部					1.05		長崎県西彼杵郡 長与町まなび野 1丁目1番1	
	国際交流学科	4	80	—	320	1.05	平成20年度		※平成28年4月学生募集停止
	情報システム学科	4	60	—	240	1.06	平成20年度		※平成28年4月学生募集停止
	看護栄養学部					1.04			
	看護学科	4	60	—	240	1.04	平成20年度		
	栄養健康学科	4	40	—	160	1.04	平成20年度		
	国際情報学研究科					0.45			
	国際交流学専攻	2	6	—	12	0.41	平成20年度		
	情報メディア学専攻	2	4	—	8	0.50	平成20年度		
	人間健康科学研究科					0.43			
	看護学専攻	2	8	—	16	0.37	平成20年度		
	栄養科学専攻 (博士前期課程)	2	8	—	16	0.50	平成20年度		
	人間健康科学研究科					0.11			
	栄養科学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	0.11	平成20年度		
附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

## 教育課程等の概要

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(情報システム学部情報システム学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全学 教育 科目	教養セミナー	1前	2				○		5	3	2				
	小計（1科目）	—	2	0	0	—			5	3	2	0	0	0	
	人 文 科 学	日本史概説	1・2・3・4前		2			○							兼1
		西洋史概説	1・2・3・4後		2			○							兼1
		東洋史概説	1・2・3・4前		2			○							兼1
		人文地理学	1・2・3・4前		2			○							兼1
		哲学	1・2・3・4後		2			○							兼1
		倫理学	1・2・3・4後		2			○							兼1
		文学	1・2・3・4後		2			○							兼1
		心理学	1・2・3・4前		2			○							兼1
		文化人類学	1・2・3・4後		2			○							兼1
		国語表現	1・2・3・4後		2			○							兼1
	小計（10科目）	—	0	20	0	—			0	0	0	0	0	兼10	
	社 会 科 学	日本国憲法	1・2・3・4前		2			○			1				
		法学	1・2・3・4前		2			○			1				
		民法入門	1・2・3・4前		2			○							兼1
		政治学	1・2・3・4後		2			○							兼1
		社会学	1・2・3・4後		2			○							兼1
		現代社会と経済	1・2・3・4後		2			○							兼1
現代の企業経営		1・2・3・4前		2			○							兼1	
生活と社会保障制度		1・2・3・4後		2			○							兼1	
現代社会の課題		1・2・3・4後		2			○							兼5	
小計（9科目）	—	0	18	0	—			0	1	0	0	0	兼11		
自 然 科 学	数学	1前	2				○							兼2	
	統計学	1前	2				○							兼2	
	化学	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	物理科学	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	生物科学	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	科学史	1・2・3・4前		2			○							兼1	
小計（6科目）	—	4	8	0	—			0	0	0	0	0	兼6		
健 康 科 学	ライフスポーツ	1・2・3・4前・後		1										兼2	
	現代人とスポーツ	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	運動と栄養	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	食文化論	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	健康と科学	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	被曝と健康	1・2・3・4後		1			○							兼1	
	暮らしの中の救急法	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	対人関係論	1・2・3・4前		2			○							兼1	
小計（8科目）	—	0	14	0	—			0	0	0	0	0	兼8		
情 報 科 学	情報処理概論	1前	2				○							兼1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	2					○	5	2	2			兼9	
	情報処理演習Ⅱ	1後	2					○	5	2	2			兼9	
	小計（3科目）	—	6	0	0	—			5	2	2	0	0	兼9	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(情報システム学部情報システム学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学 教育 科目	長 崎 を 学 ぶ	長崎と文化	1・2・3・4後		2		○								兼1	メディア・オムニバス	
		長崎の歴史と今	1・2・3・4後		2		○								兼1		
		長崎と宗教	1・2・3・4後		2		○								兼1		
		シーボルトと長崎	1・2・3・4後		2		○								兼1		
		長崎と産業	1・2・3・4前		2		○								兼1		
		長崎と平和	1・2・3・4前		2		○								兼1		
		小計（6科目）	—	0	12	0		—		0	0	0	0	0	0	兼12	—
		学 し ま に	長崎のしまに学ぶ	2前	2			○		5	3	2					
	しまのフィールドワーク		2通	2				○		5	3	2					
		小計（2科目）	—	4	0	0		—		5	3	2	0	0	0	0	—
		キ ャ リ ア 形 成	キャリアデザインⅠ	1・2後	2			○								兼1	
	キャリアデザインⅡ		2・3後	2			○									兼1	
	インターンシップ		2・3通	2					○							兼1	
	ボランティア活動		1・2・3・4通	2					○							兼1	
		小計（4科目）	—	2	6	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2	—
		外 国 語	英語Ⅰ	1前	1			○								兼15	
	英語Ⅱ		1後	1				○								兼15	
	英語Ⅲ		1・2前	1				○								兼15	
	英語Ⅳ		1・2後	1				○								兼15	
英語Ⅴ	1・2・3・4前			1			○								兼15		
英語Ⅵ	1・2・3・4後			1			○								兼15		
英語実践演習Ⅶ	1・2・3・4後			1			○								兼1		
英語実践演習Ⅷ	1・2・3・4前			1			○								兼1		
英語実践演習Ⅸ	1・2・3・4後			1			○								兼1		
オーラル・コミュニケーションⅠ	1前		1				○								兼3		
オーラル・コミュニケーションⅡ	1後		1				○								兼3		
オーラル・コミュニケーションⅢ	1・2・3・4前			1			○								兼3		
オーラル・コミュニケーションⅣ	1・2・3・4後			1			○								兼3		
リーディングⅠ	2前		1				○								兼15		
リーディングⅡ	2後		1				○								兼15		
リーディングⅢ	1・2・3・4前			1			○								兼3		
ライティングⅠ	1・2・3・4後			1			○								兼1		
ライティングⅡ	1・2・3・4後			1			○								兼3		
海外語学研修（英語）	1・2・3・4前・後			2				○							兼1		
	小計（19科目）	—	8	12	0		—		0	0	0	0	0	0	兼21	—	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(情報システム学部情報システム学科)															
科目 区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学 教育 科目	外国 語	中国語ⅠA（文法）	1・2・3前		1			○							兼1
		中国語ⅠA（会話）	1・2・3前		1			○							兼1
		中国語ⅠA（ヒアリング作文）	1・2・3前		1			○							兼1
		中国語ⅠA（筆記・読解）	1・2・3前		1			○							兼1
		中国語ⅠB（文法）	1・2・3後		1			○							兼1
		中国語ⅠB（会話）	1・2・3後		1			○							兼1
		中国語ⅠB（ヒアリング作文）	1・2・3後		1			○							兼1
		中国語ⅠB（筆記・読解）	1・2・3後		1			○							兼1
		中国語ⅡA（講読）	2・3・4後		1			○							兼1
		中国語ⅡA（会話）	2・3・4前		1			○							兼1
		中国語ⅡA（ヒアリング作文）	2・3・4前		1			○							兼1
		中国語ⅡA（筆記・読解）	2・3・4前		1			○							兼1
		中国語ⅡB（講読）	2・3・4後		1			○							兼1
		中国語ⅡB（会話）	2・3・4後		1			○							兼1
		中国語ⅡB（ヒアリング作文）	2・3・4後		1			○							兼1
		中国語ⅡB（筆記・読解）	2・3・4後		1			○							兼1
		中国語ⅢA（時事・新聞）	2・3・4前		1			○							兼1
		中国語ⅢA（表現）	2・3・4前		1			○							兼1
		海外語学研修（中国語）	1・2・3・4前・後	2					○						兼1
	小計（19科目）		—	0	20	0	—			0	0	0	0	0	兼5
そ の 他	韓国・朝鮮語ⅠA	1・2・3前		1			○							兼1	
	韓国・朝鮮語ⅠB	1・2・3後		1			○							兼1	
	韓国・朝鮮語ⅡA	2・3・4前		1			○							兼1	
	韓国・朝鮮語ⅡB	2・3・4後		1			○							兼1	
	韓国・朝鮮語ⅢA	2・3・4前		1			○							兼1	
	韓国・朝鮮語ⅢB	2・3・4後		1			○							兼1	
	海外語学研修（韓国・朝鮮語）	1・2・3・4前・後	2					○						兼1	
	フランス語ⅠA	1・2・3前		1			○							兼1	
	フランス語ⅠB	1・2・3後		1			○							兼1	
	スペイン語ⅠA	1・2・3前		1			○							兼1	
	スペイン語ⅠB	1・2・3後		1			○							兼1	
	ドイツ語ⅠA	1・2・3前		1			○							兼1	
ドイツ語ⅠB	1・2・3後		1			○							兼1		
小計（13科目）		—	0	14	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報システム学部情報システム学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学 教育 科目	留 学 生 科 目	日本語ⅠA	1前	1			○							兼1
		日本語ⅠB	1後	1			○							兼1
		日本語ⅡA	1前	1			○							兼1
		日本語ⅡB	1後	1			○							兼1
		日本語ⅢA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅢB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅣA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅣB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅤA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅤB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅥA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅥB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅦA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅦB	1・2後	1			○							兼1
		日本事情ⅠA	1・2前	2			○							兼1
		日本事情ⅠB	1・2後	2			○							兼1
		日本事情ⅡA	1・2前	2			○							兼1
		日本事情ⅡB	1・2後	2			○							兼1
小計（18科目）		—	0	22	0	—			0	0	0	0	0	兼3

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(情報システム学部情報システム学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 教 育 科 目	学 部 共 通 専 門 科 目	情 報 数 理	情報数学	1前	2			○							兼2		
			情報理論	1後	2			○								兼1	
			統計演習	1後	2				○							兼2	
			微分積分学	2前		2			○							兼1	
			オペレーションズリサーチ	2前		2			○								
		小計（5科目）	—	6	4	0		—		1	0	0	0	0	兼3	—	
		情 報 技 術	コンピュータアーキテクチャ	1後	2			○								兼1	
			オペレーティングシステム	2前	2			○			1						
			オペレーティングシステム演習	2後		2			○		1						
			データベース論	1後	2				○		1						
			データベース演習	2前		2			○		1						
			コンピュータネットワーク	1後	2				○								兼1
			ネットワーク設計演習	2前		2				○							兼2
			情報セキュリティ概論	1後	2				○								兼1
			テクニカルライティング	2前		2			○								兼2
			ソフトウェア工学	2・3後		2			○								兼1
			マークアップ言語	2後		2			○								兼1
			データ構造とアルゴリズム	2前		2			○			1					
			プログラミング基礎演習	1後		2				○		1					
			プログラミング応用演習	2前		2				○			1				兼1
	ネットワークプログラミング演習		2後		2				○							兼1	
	オブジェクト指向プログラミング演習	2前		2				○		1							
	Webシステム設計論	2前		2				○		1							
	Webプログラミング演習	2・3後		2				○		1							
	コンピュータシミュレーション演習	2・3後		2				○							兼1		
	クラウドコンピューティング	2・3後		2				○		1							
	小計（20科目）	—	20	20	0		—		4	1	1	0	0	兼6	—		
	マ ネ ジ メ ン ト	情報法	2前		2			○			1						
		情報経済	2前		2			○								兼1	
		プロジェクトマネジメント	2・3後		2			○								兼1	
	小計（3科目）	—	0	6	0		—		0	1	0	0	0	兼2	—		

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報システム学部情報システム学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 教 育 科 目	学 科 専 門 科 目  シ ス テ ム デ ザ イ ン	情報デザイン論	2前	2		○				1				
		数理造形演習	2後	2			○			1				
		色彩学	2後	2		○					1			
		グラフィックデザイン	3前	2		○					1			
		サウンドデザイン	2後	2		○						1		
		サウンドデザイン演習	3前	2			○					1		
		Webデザイン演習	3・4後	2			○				1			
		ヒューマンインターフェース	2後	2		○				1				
		信号処理	2後	2		○						1		
		画像処理	2・3後	2		○						1		
		画像処理演習	3・4前	2			○					1		
		コンピュータグラフィックス	2後	2		○				1				
		コンピュータグラフィックス演習	3前	2			○			1				
		デジタルコンテンツデザイン	2後	2		○				1				
		デジタルコンテンツデザイン演習	3前	2			○			1				
		CGアニメーション	3前	2		○				1				
		CGアニメーション演習	3後	2			○			1				
		モバイルアプリケーション設計演習	3前	2			○	○		1				
		モバイルアプリケーション開発演習	3・4後	2				○		1				
		認知心理学	2後	2			○							兼1
		感性情報学	3・4前	2			○			1				
		可視化情報学	3・4後	2			○				1			
		知能情報学	3・4後	2			○				1			
数値計算演習	3・4前	2				○						兼1		
多変量解析	3・4前	2			○							兼2		
小計（25科目）		—	6	44	0	—			4	2	2	0	0	兼2
実 践 演 習	実 践 演 習	情報技術演習	1前・後	2			○		5	2	2			
		情報システム演習	1・2前・後	2			○		5	2	2			
		企業研究	2後	2		○			1	1				
		企業インターンシップ	3前・後	2				○	1					
小計（4科目）		—	4	4	0	—			5	2	2	0	0	0

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(情報システム学部情報システム学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 教 育 科 目	学 科 専 門 科 目	ゼ ミ ナ ー ル	専門演習	3後	2			○		5	3	2			
			卒業論文	4通	4			○		5	3	2			
			小計（2科目）	—	6	0	0	—		5	3	2	0	0	0
合計（177科目）			—	68	224	0	—		5	3	2	0	0	兼87	
学位又は称号		学士（情報システム学）			学位又は学科の分野			工学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<b>【卒業要件単位 128単位】</b> ○全学教育科目 36単位（必修26単位、選択必修2単位、選択8単位） ・『長崎を学ぶ』より2単位以上 ・『留学生科目』は、外国人留学生のみ履修可能 「日本事情ⅠA」及び「日本事情ⅠB」又は「日本事情ⅡA」及び「日本事情ⅡB」を含む4単位以上 ○学部共通専門科目及び学科専門科目 92単位（必修42単位、選択50単位） ・学部共通専門科目より42単位以上 ・情報セキュリティ学科専門科目の『セキュリティ技術』又は『セキュリティマネジメント』より8単位を上限として選択単位に含めることができる （履修科目の登録の上限：48単位（年間））							1 学年の学期区分		2 学期						
							1 学期の授業期間		1 5 週						
							1 時限の授業時間		9 0 分						

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(情報システム学部情報セキュリティ学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 教育 科目	教養セミナー	1前	2				○			7	2					
	小計（1科目）	—	2	0	0	—				7	2	0	0	0	0	
	人 文 科 学	日本史概説	1・2・3・4前		2			○								兼1
		西洋史概説	1・2・3・4後		2			○								兼1
		東洋史概説	1・2・3・4前		2			○								兼1
		人文地理学	1・2・3・4前		2			○								兼1
		哲学	1・2・3・4後		2			○								兼1
		倫理学	1・2・3・4後		2			○								兼1
		文学	1・2・3・4後		2			○								兼1
		心理学	1・2・3・4前		2			○								兼1
		文化人類学	1・2・3・4後		2			○								兼1
	国語表現	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	小計（10科目）	—	0	20	0	—				0	0	0	0	0	兼10	—
	社 会 科 学	日本国憲法	1・2・3・4前		2			○								兼1
法学		1・2・3・4前		2			○								兼1	
民法入門		1・2・3・4前		2			○								兼1	
政治学		1・2・3・4後		2			○								兼1	
社会学		1・2・3・4後		2			○								兼1	
現代社会と経済		1・2・3・4後		2			○								兼1	
現代の企業経営		1・2・3・4前		2			○								兼1	
生活と社会保障制度		1・2・3・4後		2			○								兼1	
現代社会の課題		1・2・3・4後		2			○								兼5	
小計（9科目）	—	0	18	0	—				0	0	0	0	0	兼12	—	
自 然 科 学	数学	1前	2				○			1	1					
	統計学	1前	2				○				2					
	化学	1・2・3・4後		2			○								兼1	
	物理科学	1・2・3・4前		2			○								兼1	
	生物科学	1・2・3・4前		2			○								兼1	
	科学史	1・2・3・4前		2			○								兼1	
小計（6科目）	—	4	8	0	—				1	2	0	0	0	兼3	—	
健 康 科 学	ライフスポーツ	1・2・3・4前・後		1					○						兼2	
	現代人とスポーツ	1・2・3・4後		2				○							兼1	
	運動と栄養	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	食文化論	1・2・3・4後		2				○							兼1	
	健康と科学	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	被曝と健康	1・2・3・4後		1				○							兼1	
	暮らしの中の救急法	1・2・3・4前		2				○							兼1	
	対人関係論	1・2・3・4前		2				○							兼1	
小計（8科目）	—	0	14	0	—				0	0	0	0	0	兼8	—	
情 報 科 学	情報処理概論	1前	2				○			1						
	情報処理演習Ⅰ	1前	2					○		7	2				兼9	
	情報処理演習Ⅱ	1後	2					○		7	2				兼9	
	小計（3科目）	—	6	0	0	—				7	2	0	0	0	兼9	—

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(情報システム学部情報セキュリティ学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 教育科目	長崎を学ぶ	長崎と文化	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		長崎の歴史と今	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		長崎と宗教	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		シーボルトと長崎	1・2・3・4後		2		○								兼1	
		長崎と産業	1・2・3・4前		2		○								兼7	
		長崎と平和	1・2・3・4前		2		○								兼1	
		小計（6科目）	—	0	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼12	—
	学し ぶま に	長崎のしまに学ぶ	2前	2				○		7	2					
		しまのフィールドワーク	2通	2					○	7	2					
		小計（2科目）	—	4	0	0	—	—	—	7	2	0	0	0	0	—
キ ャ リ ア 形 成	キャリアデザインⅠ	1・2後	2			○									兼1	
	キャリアデザインⅡ	2・3後	2			○									兼1	
	インターンシップ	2・3通	2					○							兼1	
	ボランティア活動	1・2・3・4通	2					○							兼1	
	小計（4科目）	—	2	6	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼2	—	
外 国 語	英語Ⅰ	1前	1				○								兼15	
	英語Ⅱ	1後	1				○								兼15	
	英語Ⅲ	1・2前	1				○								兼15	
	英語Ⅳ	1・2後	1				○								兼15	
	英語Ⅴ	1・2・3・4前	1				○								兼15	
	英語Ⅵ	1・2・3・4後	1				○								兼15	
	英語実践演習Ⅶ	1・2・3・4後	1				○								兼1	
	英語実践演習Ⅷ	1・2・3・4前	1				○								兼1	
	英語実践演習Ⅸ	1・2・3・4後	1				○								兼1	
	オーラル・コミュニケーションⅠ	1前	1				○								兼3	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	1後	1				○								兼3	
	オーラル・コミュニケーションⅢ	1・2・3・4前	1				○								兼3	
	オーラル・コミュニケーションⅣ	1・2・3・4後	1				○								兼3	
	リーディングⅠ	2前	1				○								兼15	
	リーディングⅡ	2後	1				○								兼15	
	リーディングⅢ	1・2・3・4前	1				○								兼3	
	ライティングⅠ	1・2・3・4後	1				○								兼1	
	ライティングⅡ	1・2・3・4後	1				○								兼3	
	海外語学研修（英語）	1・2・3・4前・後	2					○							兼1	
	小計（19科目）	—	8	12	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼21	—	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(情報システム学部情報セキュリティ学科)																
科目 区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全学 教育 科目	外国 語	中国語ⅠA（文法）	1・2・3前		1			○							兼1	—
		中国語ⅠA（会話）	1・2・3前		1			○							兼1	
		中国語ⅠA（ヒアリング作文）	1・2・3前		1			○							兼1	
		中国語ⅠA（筆記・読解）	1・2・3前		1			○							兼1	
		中国語ⅠB（文法）	1・2・3後		1			○							兼1	
		中国語ⅠB（会話）	1・2・3後		1			○							兼1	
		中国語ⅠB（ヒアリング作文）	1・2・3後		1			○							兼1	
		中国語ⅠB（筆記・読解）	1・2・3後		1			○							兼1	
		中国語ⅡA（講読）	2・3・4後		1			○							兼1	
		中国語ⅡA（会話）	2・3・4前		1			○							兼1	
		中国語ⅡA（ヒアリング作文）	2・3・4前		1			○							兼1	
		中国語ⅡA（筆記・読解）	2・3・4前		1			○							兼1	
		中国語ⅡB（講読）	2・3・4後		1			○							兼1	
		中国語ⅡB（会話）	2・3・4後		1			○							兼1	
		中国語ⅡB（ヒアリング作文）	2・3・4後		1			○							兼1	
		中国語ⅡB（筆記・読解）	2・3・4後		1			○							兼1	
		中国語ⅢA（時事・新聞）	2・3・4前		1			○							兼1	
		中国語ⅢA（表現）	2・3・4前		1			○							兼1	
		海外語学研修（中国語）	1・2・3・4前・後		2					○					兼1	
	小計（19科目）		—	0	20	0	—				0	0	0	0	0	兼5
その 他	韓国・朝鮮語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	—
	韓国・朝鮮語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
	韓国・朝鮮語ⅡA	2・3・4前		1			○								兼1	
	韓国・朝鮮語ⅡB	2・3・4後		1			○								兼1	
	韓国・朝鮮語ⅢA	2・3・4前		1			○								兼1	
	韓国・朝鮮語ⅢB	2・3・4後		1			○								兼1	
	海外語学研修（韓国・朝鮮語）	1・2・3・4前・後		2					○						兼1	
	フランス語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	
	フランス語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
	スペイン語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	
	スペイン語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
	ドイツ語ⅠA	1・2・3前		1			○								兼1	
	ドイツ語ⅠB	1・2・3後		1			○								兼1	
小計（13科目）		—	0	14	0	—				0	0	0	0	0	兼6	—

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報システム学部情報セキュリティ学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 教育 科目	留学生 科目	日本語ⅠA	1前	1			○							兼1
		日本語ⅠB	1後	1			○							兼1
		日本語ⅡA	1前	1			○							兼1
		日本語ⅡB	1後	1			○							兼1
		日本語ⅢA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅢB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅣA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅣB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅤA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅤB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅥA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅥB	1・2後	1			○							兼1
		日本語ⅦA	1・2前	1			○							兼1
		日本語ⅦB	1・2後	1			○							兼1
		日本事情ⅠA	1・2前	2			○							兼1
		日本事情ⅠB	1・2後	2			○							兼1
		日本事情ⅡA	1・2前	2			○							兼1
		日本事情ⅡB	1・2後	2			○							兼1
小計（18科目）		—	0	22	0	—			0	0	0	0	0	兼3

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(情報システム学部情報セキュリティ学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 教 育 科 目	学 部 共 通 専 門 科 目	情 報 数 理	情報数学	1前	2			○			1	1					
			情報理論	1後	2			○				1	1				
			統計演習	1後	2				○				2				
			微分積分学	2前		2			○			1					
			オペレーションズリサーチ	2前		2			○								兼1
			小計（5科目）	—	6	4	0		—			1	2	0	0	0	兼1
	情 報 技 術	情 報 技 術	コンピュータアーキテクチャ	1後	2			○			1						
			オペレーティングシステム	2前	2			○									兼1
			オペレーティングシステム演習	2後		2			○								兼1
			データベース論	1後	2			○									兼1
			データベース演習	2前		2			○			1					
			コンピュータネットワーク	1後	2			○				1					
			ネットワーク設計演習	2前	2				○			2					
			情報セキュリティ概論	1後	2			○				1					
			テクニカルライティング	2前		2			○			2					
			ソフトウェア工学	2・3後	2			○				1					
			マークアップ言語	2後		2			○			1					
			データ構造とアルゴリズム	2前	2			○				1					
			プログラミング基礎演習	1後	2				○			1					
			プログラミング応用演習	2前		2				○		1					
ネットワークプログラミング演習	2後		2				○		1								
オブジェクト指向プログラミング演習	2前	2					○		1								
Webシステム設計論	2前		2			○								兼1			
Webプログラミング演習	2・3後		2				○							兼1			
コンピュータシミュレーション演習	2・3後		2				○		1								
クラウドコンピューティング	2・3後		2			○								兼1			
小計（20科目）	—	20	20	0		—			6	0	0	0	0	兼4	—		
マ ネ ジ メ ン ト	マ ネ ジ メ ン ト	情報法	2前		2		○								兼1		
		情報経済	2前		2		○			1							
		プロジェクトマネジメント	2・3後		2		○								兼1		
		小計（3科目）	—	0	6	0		—		1	0	0	0	0	兼2	—	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(情報システム学部情報セキュリティ学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	学 科 専 門 科 目  セ キ ユ リ テ ィ 技 術	認証とアクセス制御	2後	2			○				1				
		暗号技術	2後	2			○				1				
		暗号応用技術	3前		2		○				1				
		不正アクセス技法	3前	2			○				1				
		サーバ・Web構築	2・3後		2		○				1				
		セキュアサーバ運用演習	3前		2			○			1				
		セキュアデータベース運用演習	3後		2			○	○		1				
		インシデント対応演習	3後	2				○	○		1				
		ネットワークセキュリティ	3前	2			○				1				
		ネットワークセキュリティ演習	3前		2			○			1				
		セキュアプログラミング技法	3・4後		2		○				1				
		著作権管理技術とプライバシー保護技術	3・4前		2		○				1				
		脆弱性ハンドリング	3後		2		○				1				
		コンピュータ・フォレンジックス	3後		2		○				1				
		小計（14科目）		—	10	18	0	—			4	2	0	0	0
マ セ キ ユ リ テ ィ マ ネ ジ メ ン ト	リスクマネジメント	3前	2			○				1					
	情報セキュリティマネジメント	3後	2			○				1					
	セキュリティシステム構築と運用	3・4前	2			○				1					
	セキュリティ標準化と監査	3・4後		2		○				1				兼1 オムニバス	
小計（4科目）		—	6	2	0	—			2	0	0	0	0	兼1 —	
実 践 演 習	情報技術演習	1前・後	2				○			7	2				
	情報セキュリティ演習	1・2前・後	2				○			7	2				
	企業研究	2後		2		○				1					
	企業インターンシップ	3前・後		2				○		1					
小計（4科目）		—	4	4	0	—			7	2	0	0	0	0	—

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(情報システム学部情報セキュリティ学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 教育 科目	ゼミ ナール	専門演習	3後	2				○		7	2					
		卒業論文	4通	4				○		7	2					
		小計（2科目）	—	6	0	0	—			7	2	0	0	0	0	
合計（170科目）			—	78	200	0	—			7	2	0	0	0	兼87	
学位又は称号		学士（情報セキュリティ学）			学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
<b>【卒業要件単位 128単位】</b> ○全学教育科目 36単位（必修26単位、選択必修2単位、選択8単位） ・『長崎を学ぶ』より2単位以上 ・『留学生科目』は、外国人留学生のみ履修可能 「日本事情ⅠA」及び「日本事情ⅠB」又は「日本事情ⅡA」及び「日本事情ⅡB」を含む4単位以上 ○学部共通専門科目及び学科専門科目 92単位（必修52単位、選択40単位） ・情報システム学科専門科目の『システムデザイン』より8単位を上限として選択単位に含めることができる （履修科目の登録の上限：48単位（年間））								1学年の学期区分							2学期	
								1学期の授業期間							15週	
								1時限の授業時間							90分	

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

設置の趣旨等を記載した書類

## 情報システム学部 設置の趣旨等を記載した書類

### 1 設置の趣旨及び必要性

#### ① 学部設置の趣旨及び必要性

高度情報化社会の進展に伴い、情報技術者の役割は益々重要になっている。従来のシステムインテグレーション、パッケージソフトウェア開発、Web サイト構築等の業務に加えて、近年急速に普及してきたスマートフォン・タブレットのアプリ開発、クラウド化に対応したデータベース構築等の業務が、今後益々拡大していくものと考えられる。一方、「IT 人材白書 2014」(IPA)によると、IT 企業の約 80%、ユーザー企業の約 75%で IT 人材が不足しているという結果になっている。特に、IT 企業での人材不足は、年々増加傾向にあり、IT 企業の事業動向に対し、人材育成が十分対応できていない状況といえる(資料 1)。

さらに、近年では情報セキュリティの問題がある。情報セキュリティインシデントは年々増加の一途を辿っており、サイバー攻撃の手口も巧妙化、高度化している。インターネットバンキングの不正送金や不正ログイン、Web サービス利用者の個人情報の漏えい、政府機関などの機密情報の漏えい、オンライン詐欺などが多発しており、今後も被害の拡大が懸念される。これらの情報セキュリティインシデントは大きな社会問題となっている。一方、IT 人材不足の中でも、情報セキュリティ人材の不足は深刻である。「情報セキュリティ人材の育成に関する基礎調査－調査報告書－(平成 24 年 4 月)」(IPA)によると、社内で情報セキュリティ業務に専任で従事している人材数は約 23 万人であり、約 2.2 万人が不足していると推計されている。また、約 23 万人のうち、スキルを満たしている人材数は約 9.3 万人であり、残りの約 13.7 万人はスキルの育成が必要とされている(資料 2)。

以上のような状況から、IT 技術全般及び情報セキュリティのスキルを有する人材の育成は、高度情報化社会における喫緊の課題と考えられる。

長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科では、平成 11 年に長崎県が設立した県立長崎シーボルト大学国際情報学部情報メディア学科を平成 20 年から継承し、これまで幅広い情報関連の知識の修得により多様な領域で活躍できる情報エキスパートを育成してきた。情報メディア学科では、情報技術について学ぶ「情報技術領域」、情報コミュニケーションに関する理論やコンテンツの企画制作等を学ぶ「情報コミュニケーションデザイン領域」及びメディア・コミュニケーション論や情報制度論などを学ぶ「情報社会領域」の 3 領域を設定し、情報メディア関連の学際的教育を行ってきた。毎年高い就職率を達成しており、卒業生の一部は地元 IT 企業などをはじめ、情報技術者として大いに活躍しているところである。

しかし、前述のような IT 企業やユーザー企業での IT 人材不足、情報セキュリティ人材不足の状況を考慮して、情報メディア学科の人材育成方針を見直し、情報技術に特化した教育に学部として取り組んでいくために、IT 技術全般及び情報セキュリティのスキルを有

する人材の育成を目指した「情報システム学部」を設置する。

情報システム学部には、IT 技術について幅広い知識を有し IT 企業等で活躍できる人材の育成を目指す「情報システム学科」と、IT 人材の中でも特に必要性が高いと考えられる情報セキュリティ人材の育成を目指す「情報セキュリティ学科」を設置する。

## ② 学科設置の趣旨及び必要性

### (1) 情報システム学科

近年のスマートフォン・タブレットの普及、クラウドコンピューティングの拡大等、情報化の進展は目覚ましく、情報化を支える IT 人材育成の重要性はますます高まっている。平成 25 年 6 月に閣議決定された「世界最先端 IT 国家創造宣言」においても、IT 人材の必要性が謳われている。一方、前述のように情報化を支えるための IT 人材は不足している状況である。

このような状況を踏まえて、「情報システム学科」を新たに設置し、IT 企業やユーザー企業などで情報技術者として活躍できる人材の育成を目指す。

また、モバイルアプリ開発や Web コンテンツ作成等においては、伝えたい情報を人に分かりやすく提示するための情報デザインのスキルが重要となる。情報システム学科では、IT 技術全般の修得に加えて、これらの情報デザインに関するスキルを修得し、デザイン分野でも活躍できる人材の育成を目指す。

### (2) 情報セキュリティ学科

情報化の進展に伴い、情報セキュリティ被害は深刻化している。「2014 年度情報セキュリティ事象被害状況調査—報告書—（平成 27 年 1 月）」（IPA）によると、電子メールを介したウイルス感染、Web サイト改ざん、Web サイトの停止・機能低下、モバイル端末を標的としたマルウェア感染等の被害は年々増加傾向にある。一方、前述のように情報セキュリティ人材は大幅に不足している状況である。

このような状況を踏まえて、情報セキュリティ技術者の育成に特化した「情報セキュリティ学科」を新たに設置する。情報セキュリティ学科では、IT 技術全般に加えて、情報セキュリティ技術の修得を図り、情報セキュリティ関連企業やユーザー企業の情報セキュリティ部門などで活躍できる人材の育成を目指す。

### ③ 学部で養成する人材像及び教育研究上の目的

本学部では、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成する。具体的には次のような分野で活躍できる人材である。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材
- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

### ④ 学科で養成する人材像及び教育研究上の目的

#### (1) 情報システム学科

情報システム学科では、情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成する。具体的には次のような分野で活躍できる人材である。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材

**卒業後の進路** IT 企業（システム開発、ソフトウェア開発、Web サービスなど）、CG 制作会社、Web デザイン会社等

#### (2) 情報セキュリティ学科

情報セキュリティ学科では、情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成する。具体的には次のような分野で活躍できる人材である。

- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

**卒業後の進路** 企業のセキュリティ部門、公務員（サイバーテロ部門）、セキュリティコンサルティング企業、IT 企業（システム開発、ソフトウェア開発、Web サービスなど）等

## ⑤ 学部において組織として研究対象とする中心的な学問分野

情報システム学部では、情報システムに関する知識や技術を有し情報技術分野で活躍できる人材、感性豊かな実践的創造力を有しデザイン分野で活躍できる人材、情報セキュリティに関する知識や技術を有し情報セキュリティ分野で活躍できる人材の育成を目指し、情報技術分野、情報デザイン分野、情報セキュリティ分野を中心的な学問分野とする。

## 2 学部・学科等の特色

### ① 学部の特色

本学部は、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」（平成 17 年）で示された大学の 7 つの機能のうちの「幅広い職業人養成」、「総合的教養教育」、「社会貢献機能」に重点を置く。特に、「長崎県公立大学法人の経営戦略」（平成 23 年）の中でも、「職業人養成」及び「地域の生涯学習の機会の拠点」、「社会貢献」を、本学の最も重要な使命として明確に位置づけており、学部学生の教育に軸足を置き、教員の知と学生の活力をもって、地域の文化・経済の発展に貢献することを使命としている。すなわち、高度情報化社会に貢献できる幅広い見識を持った創造性豊かな職業人を養成するとともに、情報技術と情報セキュリティの分野において地域社会のニーズに対応した実践的研究や産学官連携を推進し、地域社会に貢献する。特に、情報セキュリティ学科は、情報セキュリティを専門に学ぶ日本初の学科であり、情報セキュリティに関する教育・研究の拠点として、各種情報発信活動や教育・研究活動を推進する。なお、本学部の目指す人材像を実現するため、各学科では次のような特色を備えている。

### ② 学科の特色

#### (1) 情報システム学科

全学教育科目では、リベラルアーツ教育の強化を目指すために、全学教育科目の『しさに学ぶ』科目群に「長崎のしさに学ぶ」及び「しまのフィールドワーク」を置き、PBL による授業を展開して、学生の主体的な学修支援を行う。グローバル化する現代社会の諸課題を自ら発見し、解決に導く能力の基礎を身に付ける。

専門教育科目では、情報技術者として、企業の第一線で活躍できる職業人の養成を目指すため、プログラミングやネットワーク構築など、情報システムの開発に必要な専門知識・技術を学ぶとともに、CG や映像制作、Web デザインなどについても学び、情報技術分野やデザイン分野で幅広く活躍できる力を身に付ける。また、社会で即戦力として活躍できるよう、通常の講義・演習に加えて、IT 企業等と連携したプロジェクト型学習、映像コンテストや CG コンテストへの参加、IT 関連企業への長期インターンシップ、情報技術に関する国家資格（IT パスポート、基本情報技術者）の取得等の実践的な教育を推進する。

## (2) 情報セキュリティ学科

全学教育科目では、リベラルアーツ教育の強化を目指すために、全学教育科目の『しまに学ぶ』科目群に「長崎のしまに学ぶ」及び「しまのフィールドワーク」を置き、PBLによる授業を展開して、学生の主体的な学修支援を行う。グローバル化する現代社会の諸課題を自ら発見し、解決に導く能力の基礎を身に付ける。

専門教育科目では、情報セキュリティ技術者として、企業の第一線で活躍できる職業人の養成を目指すため、IT技術に関する幅広い知識とともに、重要な情報を守るシステム構築の方法や情報管理の仕組みなど、情報セキュリティに関する知識・技術について深く学び、情報セキュリティのプロとしての高い専門性と実践力を身に付ける。また、社会で即戦力として活躍できるよう、通常の講義・演習に加えて、セキュリティキャンプやITキャンプなどへの参加、情報セキュリティ関連企業への長期インターンシップ、情報技術に関する国家資格（ITパスポート、情報セキュリティマネジメント\*）の取得等の実践的な教育を推進する。 \*情報処理技術者試験のうち、平成28年度から開始予定の資格（資料3）

## 3 学部・学科の名称及び学位の名称

### ① 学部の名称

本学部では、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成することとしている。

こうした学部の趣旨及び国際的な通用性、教育研究上の目的等に鑑み、学部の名称は「情報システム学部」（英語名称「Faculty of Information Systems」）とする。

### ② 学科の名称及び学位の名称

#### (1) 情報システム学科

本学科では、情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成することとしている。

こうした学科の趣旨及び国際的な通用性、教育研究上の目的等に鑑み、学科の名称は「情報システム学科」（英語名称「Department of Information Systems」）とし、学位については「学士（情報システム学）」（英語名称「Bachelor of Science in Information Systems」）とする。

#### (2) 情報セキュリティ学科

本学科では、情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成することとしている。

こうした学科の趣旨及び国際的な通用性、教育研究上の目的等に鑑み、学科の名称は「情報セキュリティ学科」（英語名称「Department of Information Security」）とし、学位に

については「学士（情報セキュリティ学）」（英語名称「Bachelor of Science in Information Security」）とする。

## 4 教育課程の編成の考え方及び特色

### ① 学部に通ずる教育課程の編成の考え方及び特色

本学部の教育課程については、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」（平成17年）の「各高等教育機関の教育・研究の質の向上に関する考え方」をふまえ、「21世紀型市民」の育成・充実を目的としつつ、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材の育成を目指し、全学教育科目と専門教育科目から成る教育課程を編成する。

#### (1) 全学教育科目

全学教育科目は、『教養セミナー』、『人文科学』、『社会科学』、『自然科学』、『健康科学』、『情報科学』、『長崎を学ぶ』、『しまに学ぶ』、『キャリア形成』、『外国語』、『留学生科目』の科目群から構成しており、幅広い視野から物事をとらえ、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断を下すことができる人材の育成を目指す。

「教養セミナー」は、1年次必修とし、大学での学修、生活において、充実した知的活動に取り組むことができるようにするため、必要となる基本的な学問の方法やルールを身に付けることを目的とする。資料や文献の収集・分析、情報収集及び活用の方法、討論、プレゼンテーション、レポート、学問の基本的なルール、研究計画の立て方などを学ぶ。

『人文科学』（歴史、地理、哲学、心理学などの科目群）、『社会科学』（法学、政治学、社会学などの科目群）、『自然科学』（数学、統計学、化学、物理学などの科目群）では、幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。なお、『自然科学』科目群の「数学」、「統計学」は1年次必修とし、専門科目を学ぶ上で必要な数学関連の基礎知識を修得する。

『健康科学』（ライフスポーツ、運動と栄養、食文化論、健康と科学などの科目群）では、人が健康な生活を営む上での運動や栄養の意義などについて、学び、体験する。

『情報科学』科目群の「情報処理概論」、「情報処理演習Ⅰ」、「情報処理演習Ⅱ」は、1年次必修とし、専門科目を学ぶ上で必要な情報関連の基礎知識を修得する。

『長崎を学ぶ』（長崎と文化、長崎の歴史と今、長崎と宗教、長崎と産業などの科目群）では、長崎県の公立大学として地域への理解を深めるため、長崎の歴史・文化・産業などについて幅広く学ぶ。6科目中1科目を必修とする。

『しまに学ぶ』科目群に設定している「長崎のしまに学ぶ」及び「しまのフィールドワーク」の2科目については、2年次必修科目とし、リベラルアーツ教育の強化を目指す。

「長崎のしまに学ぶ」のPBLによる授業運営、「しまのフィールドワーク」における学外演習への同行・指導等については、ゼミナールでのグループディスカッションや発表をこれまで指導してきている専任教員の汎用的な指導力を活かし、全学共通のマニュアル、e-ラーニング、e-ポートフォリオ等を活用し、頻繁にFDを行うことにより、全教員が担当する。また、地域にかかるさまざまな課題について、教員の専門分野を活かしたe-ラーニング教材を作成し、学生が自発的に学修できる環境づくりへの教員の参画も行う。

『キャリア形成』科目群では、学生は早い段階から自らの将来を展望し、就業への意欲を高めることが求められることから、「キャリアデザインⅠ」を1年次又は2年次必修とし、学生自身が自らの個性を理解し、主体的に進路を選択する方法を身に付けるとともに、望ましい職業観や勤労観を培いつつ職業に関する基礎的な知識を修得することを主な内容とする。

『外国語』科目群については、「英語」の8科目8単位を必修とし、実践的な語学教育を中心としたカリキュラムを配置することで、語学力の向上を目指す。

『留学生科目』は、外国人留学生が履修する科目であり、日本で生活するのに必要なコミュニケーション能力及び日本の大学教育を受けるのに十分な日本語能力を身に付けさせる。

## (2) 専門教育科目

専門教育科目は、『学部共通専門科目』と『学科専門科目』から構成する。

『学部共通専門科目』は、情報システム学科と情報セキュリティ学科に共通する専門教育科目である。情報技術の基礎を修得するため、情報数理に関する科目群、情報技術の基礎的な科目群、情報法やプロジェクトマネジメントなどのマネジメント関連科目群で構成する。配当年次は1年次～2年次を中心とする。『学部共通専門科目』に関しては、各学科の人材育成上重要な科目を必修とする。

『学科専門科目』は、各学科の専門知識・技術などを修得するための科目である。4年次の卒業論文につながるよう、学修内容の専門性や順次性などを考慮して科目を配置する。配当年次は2年次～4年次を中心とする。

## ② 学科の教育課程の編成の考え方及び特色

### (1) 情報システム学科

『学部共通専門科目』については、学科の人材育成上重要な13科目を必修とする。具体的には、『情報数理』科目群の「情報数学」、「情報理論」、「統計演習」の3科目と、『情報技術』科目群の「コンピュータアーキテクチャ」、「オペレーティングシステム」、「データベース論」、「コンピュータネットワーク」、「情報セキュリティ概論」、「ソフトウェア工学」、「データ構造とアルゴリズム」、「プログラミング基礎演習」、「プログラミング応用演習」、「オブジェクト指向プログラミング演習」の10科目である。

情報システム学科の学科専門科目は、『システムデザイン』、『実践演習』、『ゼミナール』

の科目群で構成する。

『システムデザイン』は、「画像処理」、「コンピュータグラフィックス」、「モバイルアプリケーション設計演習」など情報技術の応用的な科目と、「情報デザイン論」、「グラフィックデザイン」、「デジタルコンテンツデザイン」などデザイン関連の科目から構成する。配当年次は2年次～4年次である。システムデザイン科目群のうち、人材育成上重要と考えられる「数理造形演習」、「画像処理」、「感性情報学」を必修とする。

『実践演習』は、ITパスポートの資格取得を目的とした「情報技術演習」、基本情報技術者の資格取得を目的とした「情報システム演習」、IT関連企業の現状を研究する「企業研究」、IT関連企業で3～4週間程度の就業体験を行う「企業インターンシップ」から構成する。このうち、「情報技術演習」と「情報システム演習」については、早期の資格取得を目指し、配当年次は1年前期からとし、必修とする。

『ゼミナール』は、卒業論文の作成に必要な専門的知識を身に付けるための「専門演習」と、それまでに学修した知識・技術をもとに卒業研究を行う「卒業論文」から構成する。「専門演習」の配当年次は3年後期、「卒業論文」の配当年次は4年次とし、両科目とも必修とする。

## (2) 情報セキュリティ学科

学部共通専門科目については、学科の人材育成上重要な13科目を必修とする。具体的には、『情報数理』科目群の「情報数学」、「情報理論」、「統計演習」の3科目と、『情報技術』科目群の「コンピュータアーキテクチャ」、「オペレーティングシステム」、「データベース論」、「コンピュータネットワーク」、「ネットワーク設計演習」、「情報セキュリティ概論」、「ソフトウェア工学」、「データ構造とアルゴリズム」、「プログラミング基礎演習」、「オブジェクト指向プログラミング演習」の10科目である。

情報セキュリティ学科の学科専門科目は、『セキュリティ技術』、『セキュリティマネジメント』、『実践演習』、『ゼミナール』の科目群で構成する。

『セキュリティ技術』は、情報セキュリティ技術に関する専門的な科目群である。「認証とアクセス制御」、「暗号技術」などの基本的な科目から、「インシデント対応演習」、「脆弱性ハンドリング」、「コンピュータ・フォレンジックス」などの応用的な科目へと、専門性や順次性を考慮して配置する。配当年次は2年次～4年次である。『セキュリティ技術』科目群のうち、人材育成上重要な「認証とアクセス制御」、「暗号技術」、「不正アクセス技法」、「インシデント対応演習」、「ネットワークセキュリティ」を必修とする。

『セキュリティマネジメント』は、情報セキュリティのマネジメントや、リスクの分析と対策、セキュアなシステムの構築・運用法、セキュリティの標準化・監査などの科目群である。配当年次は3年次～4年次である。情報セキュリティの専門家としては、単に技術面だけではなく、人的な側面も含めたマネジメントに関する見識も重要であり、「リスクマネジメント」、「情報セキュリティマネジメント」、「セキュリティシステム構築と運用」

を必修とする。

『実践演習』は、IT パスポートの資格取得を目的とした「情報技術演習」、情報セキュリティマネジメントの資格取得を目的とした「情報セキュリティ演習」、情報セキュリティ関連企業の現状を研究する「企業研究」、情報セキュリティ関連企業で3～4週間程度の就業体験を行う「企業インターンシップ」から構成する。このうち、「情報技術演習」と「情報セキュリティ演習」については、早期の資格取得を目指し、配当年次は1年前期からとし、必修とする。

『ゼミナール』は、卒業論文の作成に必要な専門的知識を身につけるための「専門演習」と、それまでに学修した知識・技術をもとに卒業研究を行う「卒業論文」から構成する。「専門演習」の配当年次は3年後期、「卒業論文」の配当年次は4年次とし、両科目とも必修とする。

## 5 教員組織の編成の考え方及び特色

### ① 学部に共通する教員組織の編成の考え方及び特色

情報システム学部では、情報システムに関する知識や技術を有し情報技術分野で活躍できる人材、感性豊かな実践的創造力を有しデザイン分野で活躍できる人材、情報セキュリティに関する知識や技術を有し情報セキュリティ分野で活躍できる人材の育成を目指しており、それぞれの専門分野で十分な研究業績がある専任教員を配置している。学部の専任教員は19名であり、そのうち17名が博士の学位を有しており、学部共通専門科目28科目中27科目を学部の専任教員が担当する。

### ② 学科の教員組織の編成の考え方及び特色

#### (1) 情報システム学科

情報システム学科開設時の専任教員は10名であり、職位は、教授5名、准教授3名、講師2名である。年齢構成は、50代1名、40代9名である。既設の国際情報学部からの教員は、教授1名、准教授2名、講師2名の計5名であり、新規採用の教員は、教授4名、准教授1名の計5名である。

専任教員の専門分野は、情報技術分野（6名）、情報デザイン分野（3名）、情報法（1名）である。それぞれ専門分野で十分な研究業績があり、専任教員10名のうち、8名が博士の学位を有している。また、学科専門科目31科目中28科目を学科専任教員が担当することから、学生の指導には問題はない。

#### (2) 情報セキュリティ学科

情報セキュリティ学科開設時の専任教員は9名であり、職位は、教授7名、准教授2名である。年齢構成は、60代1名、50代3名、40代4名、30代1名である。既設の情報メ

ディア学科からの教員は、教授4名であり、新規採用の教員は、教授3名、准教授2名の計5名である。

専任教員の専門分野は、情報セキュリティ分野（8名）、情報数学（1名）である。それぞれ専門分野で十分な研究業績があり、専任教員9名全員が博士の学位を有している。また、学科専門科目24科目すべてを学科専任教員が担当することから、学生の指導には問題はない。

## 6 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

### (1) 情報システム学科

#### ① 教育方法

全学教育科目は主に講義形式の授業を行い、幅広い視野から物事をとらえるための知識の修得を目指すとともに、対話型双方向の授業を積極的に取り入れる。併せて、情報処理演習やPBLによるフィールドワーク、キャリア形成のためのインターンシップ、外国語教育など、実践力を養うための科目については、演習・実習として配置する。なお、全学教育科目は主に1、2年次から配置する。

専門教育科目は、『学部共通専門科目』と『学科専門科目』で構成する。『学部共通専門科目』は、『情報数理』、『情報技術』及び『マネジメント』の科目群で構成する。『学科専門科目』は、『システムデザイン』、『実践演習』及び『ゼミナール』の科目群で構成する。講義形式の授業では、専門職業人として必要となる情報技術分野やデザイン分野の知識・技術の修得を目指す。演習形式の授業では、講義で得た知識・技術に関する実践力の育成を目指す。なお、演習科目は、すべて専用の演習室での実技を伴う授業形態とする。

また、通常の講義・演習に加えて、各種コンテストへの参加、IT関連企業への長期インターンシップ、情報技術に関する国家資格取得等の実践的な教育を推進する。

『ゼミナール』（「専門演習」、「卒業論文」）では、少人数のゼミナール形式による徹底指導を行い、専門知識を深めるとともに、コミュニケーション力や、他者を理解し協働する力を養う。

他大学の授業科目の履修・大学以外の学修及び留学についても推奨し、60単位を上限に単位を認定する。

また、単位制度の実質化の観点から、学生の主体的な学習を促し、4年間の系統的かつ段階的な学びを実現するため、年間の履修登録単位数の上限は、年間48単位とする。

#### ② 履修指導方法

履修指導については、入学時に学科単位でオリエンテーションを行い、カリキュラム、履修方法、履修上の注意事項などについて十分な説明を行う。入学時から3年前期までは、学生10名程度に教員1名を配置するチューター制度を設け、オフィスアワーでの定期的な面談などにより、学業や生活面での支援を行う。3年後期から卒業までは、ゼミナール担

当教員による支援を行う。また、電子メールや学内掲示板などにより、各種情報の周知徹底を図る。

### ③ 卒業要件

卒業に必要な単位数は、128 単位とし、全学教育科目から 36 単位（必修 26 単位、選択必修 2 単位、選択 8 単位）、専門教育科目から 92 単位（必修 42 単位、選択 50 単位）を取得することが要件である。

全学教育科目の必修 26 単位の内訳は、『教養セミナー』2 単位、『しまに学ぶ』4 単位、『情報科学』6 単位、『自然科学』4 単位、『キャリア形成』2 単位、『外国語（英語）』8 単位である。また、『長崎を学ぶ』の 6 科目のうち 1 科目 2 単位が選択必修である。

専門教育科目の必修 42 単位の内訳は、『学部共通専門科目』26 単位（『情報数理』6 単位、『情報技術』20 単位）と『学科専門科目』16 単位（『システムデザイン』6 単位、『実践演習』4 単位、『ゼミナール』6 単位）である。

専門教育科目の選択 50 単位は、『学部共通専門科目』又は『学科専門科目』の中から取得する必要がある。ただし、選択 50 単位中、『学部共通専門科目』を 16 単位以上含む必要がある。なお、情報セキュリティ学科専門科目の『セキュリティ技術』又は『セキュリティマネジメント』より 8 単位を上限として、『専門教育科目』の選択単位に含めることができる。

情報システム学科の卒業要件単位数について、下表に示す。

○情報システム学科卒業要件単位数

科目区分		必修	選択必修	選択	合計
全学教育科目	教養セミナー	2	—	—	36
	しまに学ぶ	4	—	—	
	情報科学	6	—	—	
	人文科学	—	—	8	
	社会科学	—	—		
	自然科学	4	—		
	健康科学	—	—		
	長崎を学ぶ	—	2		
	キャリア形成	2	—		
	外国語	8※1	—		
小計	26	2	8		
専門教育科目	学部共通 専門科目	情報数理	6	—	92
		情報技術	20	—	
		マネジメント	—	—	
	学科専門 科目	システムデザイン	6	—	
		実践演習	4	—	
		ゼミナール	6	—	
小計	42	—	50		
合計	68	2	58	128	

※1 英語

※2 選択科目 50 単位中、『学部共通専門科目』を 16 単位以上含まなければならない。

また、情報システム学科の履修モデルは、資料 4 のとおりである。

## (2) 情報セキュリティ学科

### ① 教育方法

全学教育科目は主に講義形式の授業を行い、幅広い視野から物事をとらえるための知識の修得を目指すとともに、対話型双方向の授業を積極的に取り入れる。併せて、情報処理演習や PBL によるフィールドワーク、キャリア形成のためのインターンシップ、外国語教

育など、実践力を養うための科目については、演習・実習として配置する。なお、全学教育科目は主に1、2年次から配置する。

専門教育科目は、『学部共通専門科目』と『学科専門科目』で構成する。『学部共通専門科目』は、『情報数理』、『情報技術』及び『マネジメント』の科目群で構成する。『学科専門科目』は、『セキュリティ技術』、『セキュリティマネジメント』、『実践演習』及び『ゼミナール』の科目群で構成する。講義形式の授業では、専門職業人として必要となる情報セキュリティ関連の知識・技術の修得を目指す。演習形式の授業では、講義で得た知識・技術に関する実践力の育成を目指す。なお、演習科目は、すべて専用の演習室での実技を伴う授業形態とする。

また、通常の講義・演習に加えて、セキュリティキャンプへの参加、情報セキュリティ関連企業への長期インターンシップ、情報技術に関する国家資格取得等の実践的な教育を推進する。

『ゼミナール』（「専門演習」、「卒業論文」）では、少人数のゼミナール形式による徹底指導を行い、専門知識を深めるとともに、コミュニケーション力や、他者を理解し協働する力を養う。

他大学の授業科目の履修・大学以外の学修及び留学についても推奨し、60単位を上限に単位を認定する。

また、単位制度の実質化の観点から、学生の主体的な学習を促し、4年間の系統的かつ段階的な学びを実現するため、年間の履修登録単位数の上限は、年間48単位とする。

## ② 履修指導方法

履修指導については、入学時に学科単位でオリエンテーションを行い、カリキュラム、履修方法、履修上の注意事項などについて十分な説明を行う。入学時から3年前期までは、学生10名程度に教員1名を配置するチューター制度を設け、オフィスアワーでの定期的な面談などにより、学業や生活面での支援を行う。3年後期から卒業までは、ゼミナール担当教員による支援を行う。また、電子メールや学内掲示板などにより、各種情報の周知徹底を図る。

## ③ 卒業要件

卒業に必要な単位数は、128単位とする。このうち、『全学教育科目』で36単位（必修26単位、選択必修2単位、選択8単位）、『専門教育科目』で92単位（必修52単位、選択40単位）を取得する必要がある。

『全学教育科目』の必修26単位の内訳は、『教養セミナー』2単位、『しまに学ぶ』4単位、『情報科学』6単位、『自然科学』4単位、『キャリア形成』2単位、『外国語（英語）』8単位である。また、『長崎を学ぶ』の6科目のうち1科目2単位が選択必修である。

『専門教育科目』の必修52単位の内訳は、『学部共通専門科目』26単位（『情報数理』6

単位、『情報技術』20単位)と『学科専門科目』26単位(『セキュリティ技術』10単位、『セキュリティマネジメント』6単位、『実践演習』4単位、『ゼミナール』6単位)である。

『専門教育科目』の選択40単位は、『学部共通専門科目』又は『学科専門科目』の中から取得する必要がある。なお、情報システム学科専門科目の『システムデザイン』より8単位を上限として、『専門教育科目』の選択単位に含めることができる。

情報セキュリティ学科の卒業要件単位数について、下表に示す。

○情報セキュリティ学科卒業要件単位数

科目区分		必修	選択必修	選択	合計
全学教育科目	教養セミナー	2	—	—	36
	しまに学ぶ	4	—	—	
	情報科学	6	—	—	
	人文科学	—	—	8	
	社会科学	—	—		
	自然科学	4	—		
	健康科学	—	—		
	長崎を学ぶ	—	2		
	キャリア形成	2	—		
	外国語	8*	—		
小計	26	2	8		
専門教育科目	学部共通 専門科目	情報数理	6	—	92
		情報技術	20	—	
		マネジメント	—	—	
	学科専門 科目	セキュリティ技術	10	—	
		セキュリティマネジメント	6	—	
		実践演習	4	—	
		ゼミナール	6	—	
小計	52	—	40		
合計	78	2	48	128	

※英語

また、情報セキュリティ学科の履修モデルは、資料5のとおりである。

## 7 施設、設備等の整備計画

### ① 校地、運動場の整備計画

情報システム学部は、その他に国際社会学部及び看護栄養学部を置くシーボルト校に設置する。シーボルト校の校地については 100,775 m<sup>2</sup>を有しており、大学設置基準を十分に満たしている。なお、運動場やテニスコート（6面）については校舎と同一の敷地内に設けており、18,673 m<sup>2</sup>を有しているほか、学生の休息その他に利用できる空き地も十分に備えている。

また、改組前後でシーボルト校の全体収容定員に変更がないことから、既存の校地・運動場を活用することで十分に対応できるものと考えている。

### ② 校舎等施設の整備計画

情報システム学部を置くシーボルト校の校舎については 27,842 m<sup>2</sup>を有しており、大学設置基準を十分に満たしている。情報システム学部の教育課程を実施するために必要な教室は、授業形態や学生人数に合わせて、講義室 19 室、演習室 13 室、情報処理演習室 3 室、LL 教室 2 室などを備えている。全教室にパソコン、プロジェクター等の機器を常設し、情報演習室には 161 台のパソコンを備え、これらは一部演習室を除き他学部と共用の教育施設としている。なお、情報セキュリティ技術の演習設備など、新規の専門科目に対応した教育・研究環境の充実も図る予定である。

その他に附属図書館や学生自習室・食堂などを備えた学生会館なども設置している。また、同一敷地内にアリーナ・多目的室・トレーニング室を備えた体育館やサークル活動の拠点としてのサークルボックス、ダンスや音楽活動など様々な用途に活用できる多目的室などを備えている。また、専任教員の研究室についても、学部にも所属する教員 19 名分を確保している。

以上のことから、情報システム学部における教育研究を実施するにあたり、十分に対応できるものと考えている。

### ③ 図書等の資料及び図書館の整備計画

情報システム学部を置くシーボルト校は附属図書館を設置しており、平成 26 年度末現在の図書館の資料状況は、蔵書冊数が 202,469 冊（うち外国書 39,236 冊）で、学術雑誌は 506 種（うち外国書 233 種）を整備している。導入している有料データベースは 9 種類、購読している電子ジャーナルは 27 種となっている。視聴覚資料は 8,038 点を所蔵する。このうち、情報システム学部関係分野としては、蔵書冊数が 31,379 冊（うち外国書 1,864 冊）、学術雑誌 99 種（うち外国書 47 種）、視聴覚資料 666 点を所蔵している。今後は、毎年度蔵書約 300 冊、視聴覚資料約 10 点を増やしていく予定であり、情報システム学部において新たに必要となる図書については、今後段階的に整備する予定である。

施設設備としては、現在閲覧座席数は 246 席、パソコン 23 台、OPAC 6 台を設置している。

学術文献情報については、国立情報学研究所の提供する各種サービスに加入するとともに、他大学図書館との連携では、公立大学協会図書館協議会、九州地区大学図書館協議会及び長崎県大学図書館協議会に、公共図書館等との連携では、県立長崎図書館の相互貸借ネットワーク「長崎図書クロスねっと」に加入することで、幅広い文献を提供する環境も構築している。

国内外の教育研究機関との学術情報相互提供システムとして、本学独自の学術リポジトリによる学術研究成果の発信・提供も行っている。

## 8 入学者選抜の概要

### ① 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

#### (1) 情報システム学部

情報システム学部では、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材の育成を目指すため、以下のアドミッション・ポリシーを公表し、求める学生像を明確にする。

##### 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

- 情報技術や情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

#### (2) 情報システム学科

情報システム学科では、情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材の育成を目指すため、以下のアドミッション・ポリシーを公表し、求める学生像を明確にする。

##### 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

- Web、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人
- プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人
- 多様な情報メディアを活用して、コンテンツを制作する知識を深め、技術や感性を高めたい人

#### (3) 情報セキュリティ学科

情報セキュリティ学科では、情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材の育成を目指すため、以下のアドミッション・ポリシーを公表し、求める学生像を明確にする。

## 【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

- 情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人
- Web、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人
- プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人

## ② 入学者選抜の基本方針（入学者選抜方法）

### (1) 情報システム学科

情報システム学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指す。

#### A. 一般入試

##### I. 一般入試（前期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。

##### II. 一般入試（後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。

#### B. 特別選抜

##### I. 推薦入試

推薦入試では県内高校、県外高校の区分を設ける。いずれの区分においても、出身学校長の推薦書、調査書等の提出書類と大学が実施する小論文、面接により総合的に判断し選抜する。

小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。また、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。

なお、一般入試前期日程と同一科目の大学入試センター試験受験（合否判定には利用しないが、受験しなかった場合には、合格発表後であっても合格を取り消す。）又は情報処理技術者試験レベル1（ITパスポート試験）以上の合格を出願の要件として課す。

## II. 帰国子女入試

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。また、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。

## III. 社会人入試

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。また、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。なお「社会人」とは、入学前年度末までに23歳に達し、出願日現在、社会人として認められる者としている。

## IV. 私費外国人留学生入試

本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。

## (2) 情報セキュリティ学科

情報セキュリティ学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指す。

### A. 一般入試

#### I. 一般入試（前期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目）を課すとともに、個別学力検査（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。

#### II. 一般入試（後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目）を課すとともに、個別学力検査（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。

### B. 特別選抜

#### I. 推薦入試

出身学校長の推薦書、調査書等の提出書類と大学が実施する小論文、面接により総合的に判断し選抜する。

小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的

思考力、表現力等を評価する。また、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。

なお、一般入試前期日程と同一科目の大学入試センター試験受験（合格判定には利用しないが、受験しなかった場合には、合格発表後であっても合格を取り消す。）又は情報処理技術者試験レベル2（基本情報技術者試験）以上の合格を出願の要件として課す。

## II. 帰国子女入試

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。また、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。

## III. 社会人入試

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。また、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。なお「社会人」とは、入学前年度末までに23歳に達し、出願日現在、社会人として認められる者としている。

## IV. 私費外国人留学生入試

本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。

入学者選抜方式毎の募集人員について、下表に示す。

【情報システム学部 募集人員】

(名)

学科名	入学定員	一般入試		特別選抜			
		前期日程	後期日程	推薦入試	帰国子女	社会人	私費外国人留学生
情報システム学科	40	20	8	12	若干名	若干名	若干名
情報セキュリティ学科	40	20	8	12	若干名	若干名	若干名

### ③ 入学者選抜体制

本学では、「長崎県立大学入試委員会規程」に基づき、全学及び各学部それぞれ入試委員会を設置する。入学者選抜の制度、組織及び方法に関する事項や、学生募集に関する重要な事項など全学共通の重要事項については担当副学長を委員長とする全学委員会で、各学部における学生募集及び入学者選抜の実施に関する事項については学部委員会でそれぞれ審議を行う。試験問題の作成については、同規程に基づき学部委員会に問題作成部会を置き、試験問題の十分な点検を行いミスの防止に努める。

入学者選抜の実施にあたっては、学長を本部長とする入学者選抜試験実施本部を設置する。実施本部の下、佐世保校及びシーボルト校の両キャンパスにそれぞれ試験場本部を置き、試験場本部の下に各学部本部を置く。試験場本部長には当該キャンパスを統括する副学長を、学部本部長には各学部長をもって充て、それぞれの入学者選抜試験実施の指揮命令系統と責任体制を明確にする。なお、合否判定については、学長が、学部教授会の意見を聴いたうえで決定する。

## 9 実習の具体的計画

本学部では、学生が将来希望する職業に関連した職場で業務を体験することを通じて、労働への意欲を高めるとともに、必要とされる専門的知識や職場に関する理解を深めることで具体的に進路を考える機会を設けるため、3年次に3～4週間程度の就業体験を行う「企業インターンシップ」を配置する。情報システム学科ではIT関連企業において、また情報セキュリティ学科ではセキュリティ関連企業において実施する。

### ① 実習先の確保状況

実習先の確保状況について、下表に示す。

情報システム学科 企業インターンシップ受入企業等	
NECソリューションイノベータ 株式会社 九州支社	扇精光ソリューションズ 株式会社
株式会社 NDKCOM	十八ソフトウェア 株式会社
アイティースペース 株式会社	株式会社 ドゥアイネット
株式会社 PAL構造	

情報セキュリティ学科 企業インターンシップ受入企業等	
日本アイ・ビー・エム 株式会社	トレンドマイクロ 株式会社
株式会社 Kaspersky Labs Japan	NECソリューションイノベータ 株式会社 九州支社
株式会社 NDKCOM	アイティースペース 株式会社
株式会社 PAL構造	十八ソフトウェア 株式会社
株式会社 ドゥアイネット	扇精光ソリューションズ 株式会社

## ② 実習先との連携体制

大学とインターンシップ受入先との間で協定書を締結し、インターンシップの実施に関して必要な事項を事前に定める。また、「企業インターンシップ」担当教員を中心とした学科の連絡体制を確立し、実習期間中は受入先担当者との緊密な連絡を図る。万一、学生に事故などが発生した場合には、迅速な対応を行う。

## ③ 成績評価体制及び単位認定方法

インターンシップ終了後、学生に報告書を提出させ、報告会を実施する。報告書の内容と報告会の結果を総合的に判断し、「企業インターンシップ」担当教員が単位認定を行う。

## 10 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

本学では、佐世保校（佐世保市）とシーボルト校（西彼杵郡長与町）の2つのキャンパスを設置していることから、キャンパス間において生じる不便さを克服し、相互に補完し合う教育上のメリットを活かすため、全学教育科目において、専用の通信回線を利用した同時・双方向の通信が可能である遠隔授業システムによる授業を実施する。なお、本学学則の第31条にも多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させることができる旨、規定している。

## 11 管理運営

教学面における管理運営の体制については、以下のとおりである。

### (1) 教育研究評議会

目的 大学の教育研究に関する重要事項の審議のために設置  
 構成 学長、副学長、学部長、研究科長、学生部長、附属図書館長、事務局長  
 審議事項

- ① 中期目標についての意見に関する事項（経営に関する事項を除く）
- ② 中期計画及び年度計画に関する事項（経営に関する事項を除く）
- ③ 学則その他の教育研究に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項  
（経営に関する事項を除く）
- ④ 教員人事に関する事項
- ⑤ 教育課程の編成に関する方針に係る事項
- ⑥ 学生の円滑な修学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項
- ⑦ 学生の入学、卒業又は課程の修了その他学生の在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項
- ⑧ 教育及び研究の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- ⑨ その他大学の教育研究に関する重要事項

**開催頻度** 原則として月1回開催

## (2) 学部教授会

**目的** 学長が教育研究に関する事項について決定を行うに当たり、各教授会の所掌事項について意見を述べるために設置

**構成** 当該学部にも所属する教授、准教授、講師及び助教  
※学部にも所属する特任教員は、当該学部教授会に出席できる。

### 審議事項

- ① 学生の入学、卒業又は課程の修了に関する事項
- ② 学位の授与に関する事項
- ③ ①②の事項のほか、教育研究に関する重要な事項で教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

**開催頻度** 原則として月1回程度

## (3) 各種委員会（教学面における事項について審議するための委員会）

**目的** 学長が教育研究に関する事項について決定を行うに当たり、各委員会の所掌事項について意見を述べるために設置

**委員会** 教務委員会、教職課程委員会、入試委員会、就職委員会、学生委員会

**構成及び審議事項** 各委員会規程に定めるとおり

**開催頻度** 必要に応じて開催

## 12 自己点検・評価

教育研究水準の向上を図るとともに、大学の理念の実現及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等、以下の項目において自ら点検及び評価を実施する。

- ① 理念・目的
- ② 教育研究組織
- ③ 教員・教員組織
- ④ 教育内容・方法・成果
- ⑤ 学生の受け入れ
- ⑥ 学生支援
- ⑦ 教育研究等環境
- ⑧ 社会連携・社会貢献
- ⑨ 管理運営・財務
- ⑩ 内部質保証

なお、自己点検・評価の結果については、大学運営の改善に活用するとともに、本学公式ホームページにおいて公表する。

実施体制については、学長を委員長とする「自己点検・評価委員会」と、それぞれの部局で自己点検・評価を行うための組織として「部局等委員会」を設置する。上記、点検評価項目に従い全学的な自己点検・評価を行い、認証評価機関による評価を受審する。認証評価機関より指摘を受けた事項については、「自己点検・評価委員会」で改善に対する進捗管理を行いながら、「部局等委員会」において改善に取り組む。なお、平成 21 年度及び平成 26 年度には公益財団法人大学基準協会による機関別認証評価を受審し、「大学基準に適合している」との評価を受けている。また、地方独立行政法人法に基づき策定した中期計画、年度計画の着実な推進を図るため、学長を本部長とする「中期計画推進本部」を設置し、計画の進捗と成果について毎年評価を実施するとともに、第三者評価機関である「長崎県公立大学法人評価委員会」の評価を受ける。指摘を受けた事項については、「中期計画推進本部」で改善に対する進捗管理を行いながら、関連部局において改善に取り組む。

## 13 情報の公表

公立大学として県民への説明責任を果たすとともに、教育研究活動の質の向上及びその成果を地域社会に広く還元するため、法人の運営に関する情報や教育研究に関する情報など、積極的に公表している。これらの情報については、大学案内等各種刊行物のほか、本学公式ホームページにおいて公表しており、学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づく教育研究に関する情報については以下のとおり公表している。

- ① 大学の教育研究上の目的に関すること  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/purpose/>)
- ② 教育研究上の基本組織に関すること  
(<http://sun.ac.jp/guide/organization/>)
- ③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/teacher/>)
- ④ 入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員及び在学する学生数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/accepted/>)  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/situation/>)
- ⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること  
(<http://sun.ac.jp/department/>)  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/feature/>)
- ⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/recognition/>)
- ⑦ 校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること  
(<http://sun.ac.jp/campus/>)
- ⑧ 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/expense/>)
- ⑨ 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること  
(<http://sun.ac.jp/disclosure/support/>)

また、設置認可申請書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認証評価結果、法人評価結果等についても、本学公式ホームページで公表している。

#### 14 教育内容等の改善を図るための組織的な取組

本学における教育の質向上を図るため、教育の充実や教育方法の改善等を目的として、教育開発センターを設置し、以下の業務を実施する。

- ① 教育内容の充実及び教育方法の改善に関すること。
  - ア 授業方法等の改善に関すること。
  - イ 全学的なFDの企画、実施に関すること。
  - ウ 教育の評価方法の研究・企画及び実施に関すること。
  - エ 現代の大学教育の重要課題に関する情報の収集整理に関すること。
- ② 教育に関する研究及び企画に関すること。

### ③ その他教育内容の充実に関すること。

上記に基づき、授業方法等の改善を図るため、毎年、全教員が参加する全学FD研修会を開催する。高等教育の第一線で活躍している外部講師による授業改善に関する講演や、テーマ別分科会において本学教員による教育成果の検証結果の報告、授業改善事例、外部との連携事例の紹介等のもと、意見交換を行う。これらにより、教員相互の授業改善に対する意識を高め、相互啓発の機会とする。

また、学生本位の質の高い授業を提供し、教育の質を向上させるために、全ての授業科目を対象として年2回（前期・後期）学生による授業評価アンケートを実施する。授業評価の集計結果については、学内 Web やホームページで公表するとともに、科目別集計結果についても学内ネットワークに掲載する。また、アンケート結果は教員へフィードバックし、その結果を元に各教員は対応策などを記載した点検報告書を作成し、授業改善に役立てる。また、全学の方針の下、情報システム学部では授業改善を図るため以下の取組を行う。

#### ① 公開授業の実施

各教員は、セメスターあたり1科目以上の授業を学部全教員に対して公開する。公開授業に参加した教員からのアンケート結果をもとに、各教員は授業改善を図る。また、学部全教員が参加する打合せの場を設定し、アンケート結果の全体的な分析や、参考となる授業方法などに関する意見交換を行い、各自の授業改善につなげる。

#### ② 学生による授業評価の活用

全授業科目について、学生による授業評価アンケートを行い、その結果を担当教員にフィードバックする。担当教員は、アンケート結果をもとに、授業改善報告書を作成し、以後の授業改善を図る。また、授業改善報告書は、学部全教員で共有し、各自の授業改善に活用する。

#### ③ 学部FD研修会の実施

学部FD委員会を組織し、FD委員が中心となって授業改善に関するテーマについて、専門家を外部講師として招聘し、学部主催の講演会を開催する。

## 15 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

### ① 教育課程内の取組

全学教育科目及び専門教育科目において、社会的及び職業的自立を図るための科目を設置する。全学教育科目においては、キャリア形成のための科目（「キャリアデザインⅠ」、「キ

キャリアデザインⅡ」、「インターンシップ」、「ボランティア活動」)を設置し、「キャリアデザインⅠ」は必修とする。また、長崎県の離島をフィールドとした課題解決型の科目(「長崎のしまに学ぶ」、「しまのフィールドワーク」)を設置し、必修とする。

専門教育科目においては、「企業研究」において企業などで活躍している専門家から実社会の現状を学ぶとともに、「企業インターンシップ」において実際に企業の現場を体験する。

また、授業においては、知識伝達型ばかりではなく、ディスカッションやグループワーク、意見発表などを積極的に取り入れ、社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)の育成を図る。

## ② 教育課程外の取組

「学生支援基本方針」及び「学生支援基本方針に基づく項目別支援策」を策定し、学生が低学年次から自分自身の将来の生き方を考え、目的意識を持って大学生活を送るための様々な支援を行っている。

- (1) 学生が希望する進路の実現に向けて、体系的なキャリア教育、ガイダンスを実践し、初年次から職業観を醸成するとともに、卒業後の社会的・職業的自立のための能力を培うため、教職員が一体となってキャリア形成支援を行う。
- (2) 入学から卒業までを支援する「キャリアポートフォリオ」の有効活用により、学生自らが考え行動する力を涵養できるよう、教職員が連携し支援を行う。
- (3) 進路支援を充実させるため、保護者、卒業生との連携や学生同士のピアサポートを強化する。
- (4) 「進路記録簿」により、教職員が学生個々の就職活動等の状況を共有し、学生の志望に沿った進路支援を行う。

参考)平成26年度 教育課程外の進路支援

- ① キャリアポートフォリオ
- ② 進路記録簿
- ③ 個別進路相談
- ④ 資格取得対策講座・受験申込受付
- ⑤ インターンシップ
- ⑥ R-CAP 受検・解説会
- ⑦ 就職ガイダンス
- ⑧ SPI 模試・SPI 対策講座
- ⑨ グループ面接・グループディスカッションセミナー
- ⑩ 学内合同企業面談会
- ⑪ 学内個別企業説明会
- ⑫ 保護者就職懇談会

- ⑬ 企業訪問
- ⑭ OB等による業界・企業セミナー
- ⑮ 学外合同企業説明会 バス支援

### ③ 適切な体制の整備

全学教育におけるキャリア教育に関する事項を審議する組織として、教務委員会を設置する。教務委員会には各学部教務委員会を設置し、教務委員会の委員は、副学長を長として、学生部長、各学部教務委員長、学生支援課長等で編成し、各学部教務委員会とも連携を図る。

また、就職委員会を設置し、就職に関する事項については組織的に審議・決定し、これに従い年間を通して計画的に進路支援を行う。就職委員会には各学部就職委員会を設置し、就職委員会の委員は、副学長を長として、学部長、学生部長、学科長、就職課長等で編成し、各学部就職委員会とも連携を図る。なお、必要に応じ、就職委員長が、教務委員会に設置する「就業力育成に関するワーキンググループ」に出席し、教育課程と連携した就業力支援を推進している。

そのほか、社会的・職業的自立に関する指導等を行うため、シーボルト校に就職課を設置する。職員4名（うちキャリアカウンセラー有資格者2名）を配置し、平日9:00～17:45で対応する。就職課では学生の就職活動をサポートするため、就職情報の収集や就職に関する資料を備えるとともに、就職相談の実施、求人情報の提供、就職支援イベントの開催等を行う。

## 参 考 資 料

- 資料 1 独立行政法人 情報処理推進機構「IT人材白書 2014」(平成 26 年 4 月)  
[該当部分抜粋]
- 資料 2 独立行政法人 情報処理推進機構「情報セキュリティ人材の育成に関する基礎  
調査－調査報告書－」(平成 24 年 4 月) [該当部分抜粋]
- 資料 3 「情報処理技術者試験 情報セキュリティマネジメント試験」概要
- 資料 4 情報システム学科履修モデル
- 資料 5 情報セキュリティ学科履修モデル

資料 番号	書類等の題名	出典および引用範囲	その他の説明
資料 1	IT 人材白書 2014 独立行政法人情報処理推進機構 IT 人材育成本部 編	p. 147 および p. 179 抜粋 <a href="https://www.ipa.go.jp/files/000038387.pdf">https://www.ipa.go.jp/files/000038387.pdf</a> (独立行政法人情報処理推進機構 HP より)	p. 147 および p. 179 の記載事項 を黒枠で囲んだ。
資料 2	情報セキュリティ人材の育成に関する 基礎調査－調査報告書－ 独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター	p. 3 および pp. 63～66 <a href="http://www.ipa.go.jp/files/000014184.pdf">http://www.ipa.go.jp/files/000014184.pdf</a> (独立行政法人情報処理推進機構 HP より)	
資料 3	「情報処理技術者試験 情報セキュリティ マネジメント試験」概要	<a href="http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/dai39/pdf/39sankou0200.pdf">http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/dai39/pdf/39sankou0200.pdf</a> (内閣サイバーセキュリティセンターHP より)	

※HP より引用した資料

## 情報システム学科 履修モデル

人材像① システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
全学教育科目	教養セミナー	教養セミナー	2						2	
	人文科学	心理学	2						2	
	社会科学	現代社会と経済	2						2	
	自然科学	数学	2						4	
		統計学	2							
	健康科学	現代人とスポーツ	2						2	
	情報科学	情報処理概論	2							6
		情報処理演習Ⅰ	2							
		情報処理演習Ⅱ	2							
	長崎を学ぶ	長崎と産業	2						2	
	しまに学ぶ			長崎のしまに学ぶ	2					4
				しまのフィールドワーク	2					
キャリア形成	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2					4	
英語	英語Ⅰ	1	英語Ⅲ	1					8	
	英語Ⅱ	1	英語Ⅳ	1						
	オーラル・コミュニケーションⅠ	1	リーディングⅠ	1						
	オーラル・コミュニケーションⅡ	1	リーディングⅡ	1						
計	—	26	—	10	—	0	—	0	36	
学部共通専門科目	情報数理	情報数学	2	微積分学	2					8
		情報理論	2							
		統計演習	2							
	情報技術	コンピュータアーキテクチャ	2	オペレーティングシステム	2	Webプログラミング演習	2			40
		データベース論	2	オペレーティングシステム演習	2	コンピュータシミュレーション演習	2			
		コンピュータネットワーク	2	データベース演習	2	クラウドコンピューティング	2			
		情報セキュリティ概論	2	ネットワーク設計演習	2					
		プログラミング基礎演習	2	ソフトウェア工学	2					
				テクニカルライティング	2					
				マークアップ言語	2					
				データ構造とアルゴリズム	2					
				プログラミング応用演習	2					
			ネットワークプログラミング演習	2						
		オブジェクト指向プログラミング演習	2							
		Webシステム設計論	2							
マネジメント			情報法	2	プロジェクトマネジメント	2			6	
			情報経済	2						
学科専門科目	システムデザイン			数理造形演習	2	グラフィックデザイン	2	多変量解析	2	24
				画像処理	2	Webデザイン演習	2			
						感性情報学	2			
						画像処理演習	2			
						モバイルアプリケーション設計演習	2			
						モバイルアプリケーション開発演習	2			
						可視化情報学	2			
						知能情報学	2			
						数値計算演習	2			
実践演習	情報技術演習	2	企業研究	2	企業インターンシップ	2			8	
	情報システム演習	2								
ゼミナール					専門演習	2	卒業論文	4	6	
計	—	20	—	36	—	30	—	6	92	
合計	—	46	—	46	—	30	—	6	128	

## 情報システム学科 履修モデル

人材像② 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
全学教育科目	教養セミナー	教養セミナー	2						2	
	人文科学	心理学	2						2	
	社会科学	民法入門	2						2	
	自然科学	数学	2						4	
		統計学	2							
	健康科学	健康と科学	2						2	
	情報科学	情報処理概論	2						6	
		情報処理演習Ⅰ	2							
		情報処理演習Ⅱ	2							
	長崎を学ぶ	長崎と文化	2						2	
	しまに学ぶ			長崎のしまに学ぶ	2				4	
				しまのフィールドワーク	2					
キャリア形成	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2				4		
英語	英語Ⅰ	1	英語Ⅲ	1				8		
	英語Ⅱ	1	英語Ⅳ	1						
	オーラル・コミュニケーションⅠ	1	リーディングⅠ	1						
	オーラル・コミュニケーションⅡ	1	リーディングⅡ	1						
計	—	26	—	10	—	0	—	0	36	
学部共通専門科目	情報数理	情報数学	2						6	
		情報理論	2							
		統計演習	2							
	情報技術	コンピュータアーキテクチャ	2	オペレーティングシステム	2	Webプログラミング演習	2		32	
		データベース論	2	オペレーティングシステム演習	2	コンピュータシミュレーション演習	2			
		コンピュータネットワーク	2	データベース演習	2	クラウドコンピューティング	2			
		情報セキュリティ概論	2	テクニカルライティング	2					
		プログラミング基礎演習	2	ソフトウェア工学	2					
				データ構造とアルゴリズム	2					
				プログラミング応用演習	2					
			オブジェクト指向プログラミング演習	2						
	マネジメント		情報法	2	プロジェクトマネジメント	2			4	
学科専門科目	システムデザイン			情報デザイン論	2	グラフィックデザイン	2	可視化情報学	2	36
				数理造形演習	2	サウンドデザイン演習	2			
				色彩学	2	Webデザイン演習	2			
				サウンドデザイン	2	画像処理演習	2			
				ヒューマンインターフェース	2	コンピュータグラフィックス演習	2			
				画像処理	2	デジタルコンテンツデザイン演習	2			
				コンピュータグラフィックス	2	CGアニメーション	2			
				デジタルコンテンツデザイン	2	CGアニメーション演習	2			
					2	感性情報学	2			
					2					
実践演習	情報技術演習	2	企業研究	2	企業インターンシップ	2			8	
	情報システム演習	2								
ゼミナール					専門演習	2	卒業論文	4	6	
計	—	20	—	36	—	30	—	6	92	
合計	—	46	—	46	—	30	—	6	128	

## 情報セキュリティ学科 履修モデル

人材像① 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
全学教育科目	教養セミナー	教養セミナー	2						2	
	人文科学	心理学	2						2	
	社会科学	法学	2						2	
	自然科学	数学	2						4	
		統計学	2							
	健康科学	運動と栄養	2						2	
	情報科学	情報処理概論	2						6	
		情報処理演習Ⅰ	2							
		情報処理演習Ⅱ	2							
	長崎を学ぶ	長崎と産業	2						2	
	しまに学ぶ			長崎のしまに学ぶ	2				4	
				しまのフィールドワーク	2					
キャリア形成	キャリアデザインⅠ	2	キャリアデザインⅡ	2				4		
英語	英語Ⅰ	1	英語Ⅲ	1				8		
	英語Ⅱ	1	英語Ⅳ	1						
	オーラル・コミュニケーションⅠ	1	リーディングⅠ	1						
	オーラル・コミュニケーションⅡ	1	リーディングⅡ	1						
計	—	26	—	10	—	0	—	0	36	
学部共通専門科目	情報数理	情報数学	2	微分積分学	2				8	
		情報理論	2							
		統計演習	2							
	情報技術	コンピュータアーキテクチャ	2	オペレーティングシステム	2				28	
		データベース論	2	オペレーティングシステム演習	2					
		コンピュータネットワーク	2	データベース演習	2					
		情報セキュリティ概論	2	ネットワーク設計演習	2					
		プログラミング基礎演習	2	テクニカルライティング	2					
				ソフトウェア工学	2					
				データ構造とアルゴリズム	2					
			プログラミング応用演習	2						
			オブジェクト指向プログラミング演習	2						
マネジメント			情報法	2	プロジェクトマネジメント	2		6		
			情報経済	2						
学科専門科目	セキュリティ技術			認証とアクセス制御	2	暗号応用技術	2	著作権管理技術と プライバシー保護技術	2	28
				暗号技術	2	不正アクセス技法	2			
				サーバ・Web構築	2	セキュアサーバ運用演習	2			
						セキュアデータベース運用演習	2			
						インシデント対応演習	2			
						ネットワークセキュリティ	2			
						ネットワークセキュリティ演習	2			
						セキュアプログラミング技法	2			
						脆弱性ハンドリング	2			
						コンピュータ・フォレンジックス	2			
	マセネキジュメリメンテイ				リスクマネジメント	2			8	
					情報セキュリティマネジメント	2				
				セキュリティシステム構築と運用	2					
				セキュリティ標準化と監査	2					
実践演習	情報技術演習	2	企業研究	2	企業インターンシップ	2			8	
	情報セキュリティ演習	2								
ゼミナール					専門演習	2	卒業論文	4	6	
計	—	20	—	32	—	34	—	6	92	
合計	—	46	—	42	—	34	—	6	128	